



豊中市議会議員

りっけん豊中市政NEWS

2026 春
議会報告特別号

井上ひろみニュース

見る。聞く。動く。

～子どもまん中!もっと良い豊中!～

市長選後の豊中市政、しっかりチェックしてまいります!!

こんにちは!いつもお世話になっております。豊中市では 4 月 19 日に豊中市長選挙が行われ、現職の長内しげき市長が再選されました。これまでの豊中市が積み重ねてきた力をしっかりと受け継ぎ、その上でさらなる発展を目指すべきで、成熟した都市に必要なのは、破壊ではなく、着実な前進だと考え、長内市長の 3 期目に期待しています。

豊中市は、先進性ととも、福祉・教育・文化を大切にしてきたまちです。福祉の分野では、行政だけでなく市民力も高く、困りごとに寄り添い、居場所づくりに取り組む団体が数多く存在し、市もそれを支えています。教育についても、環境整備と中身の両面で充実が進んできました。人口が増加傾向にあり、出生率も他市より高いことは、このまちの安心感ややさしさの表れではないでしょうか。

多文化共生の豊中だから、子どもたちは外国から来た友達と楽しく、一緒に過ごしていけるように考えます。インクルーシブ教育で子どもたちは、ひとりひとりの違いを認め合い、困っていそうな友達に、大丈夫?と声をかけあいます。利便性の高さも魅力ですが、それ以上に「ここで子育てをしたい」「ここで暮らしたい」と思える環境があるからこそ、人が集まり、税収が増え、さらに施策が充実していく——そんな好循環が生まれているのだと感じています

開発などの街の活気づくりを行政が担う目的は、効率や競争を優先する考え方とは一線を画していなければなりません。行政が目指すべきは、誰もが安心して暮らせる、やさしく住みやすいまちをつくることです。その実現のためにこそ税収を確保し、必要な施策へとつなげていく視点が大切です。「自由競争」「自己責任」「規制緩和」といった言葉は力強く響きます。しかし、さまざまな立場や状況にある人々への思いやりがあってこそ、まちは“暮らしの場”としての価値を持ちます。市長選挙後も、しっかりと訴えてまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



●大阪都構想になったら豊中市はどう変わるの?? (よくいただくご質問)

過去 2 回の否決は大切な民意!

大阪市を解体し、特別区とすることにこれまで2度大阪市で住民投票が行われ、否決されました。実は、特別区の対象は『大阪市内に隣接する市』も含まれ、豊中市も「豊中区」あるいは〇×区のような別の名前になる可能性が大きいです。名前が変わるだけではなく、財源(豊中市民が納めた市民税など)も半分近く府に吸い上げられることとなります。そうなれば市の独自性は失われるでしょう。

福祉や教育に地域差が生じないよう国は交付金等の措置をとります。それを活用してどのような街にするか、各市(自治体)の特色や市民の意見こそが大切にされなければなりません。その上で私たちは自分が住みたいまちを選び、まちづくりを考えるのです。財源の集中は権力

側の都合であり、住民自治を脅かすもので、決して容認できません。

副首都構想と大阪都構想は別物

副首都構想は、東京一極集中のリスクに備え、国家機能の一部を分担・代替できる拠点を整える「国家的な都市戦略」です。重要なのは、副首都の担い手は必ずしも大阪都の実現を前提としない点です。現行制度のもとでも大阪がその役割を担うことは可能であり、他都市との連携という視点も含まれます。

大阪都構想が財源集中のための制度改革の議論であるのに対し、副首都構想は日本全体のリスク分散と成長を見据えたビジョンです。両者を切り分けて理解することが、建設的な議論の出発点となります。

議会報告

12月 本会議質問

学びなおしの灯(あかり)、夜間中学

▶ 今年は第四中学に設置された夜間学級が50周年。戦争や差別、貧困により学校へ通えなかった人たちの学びの場の経緯と現状、必要性を確認。

質疑を通じて、豊中市が夜間中学の取り組みに長年、真摯に向き合ってきたことを改めて評価し継続を強く要望しました。第四中学校夜間学級は1975年に生徒7名で開校し、義務教育を修了できなかった方の学び直しのもととしてスタートしました。現在は外国にルーツを持つ方など多様な背景の方が通い、学力の習得だけでなく、人とのつながりの中で学ぶ場として大切な役割を果たしています。

現在の在籍者は66名で、市内にとどまらず近隣市や兵庫県からも通学されており、北摂唯一の夜間学級として広域的な役割を担っています。市では50周年を機に広報、発信強化を検討していると答弁がありました。情報が届きにくい方へのアプローチは課題であり、さらに進めていくことも要望しました。

2015年には中学校を卒業していても、**不登校などで実質的には学べてない「形式卒業」の人の入学も認められています。**学校へ通えなかったという心の重荷をおろし、学ぶ意欲を取り戻し、中には進学を目指す方もいます。

交流活動では、夜間中学生自身の経験を聞いた子どもたちからのお礼のお手紙が届くなど、かけがえのない機会となっていて、学びの意義が次の世代へとつながっています。**夜間学級は社会の課題を映す存在であると同時に、それに応えようとする本市の責任ある取り組みの象徴であり、今後もその意義を大切に継続していくことが求められます。教育長からは「必要とする人がいる限り、夜間学級を守る」との力強い言葉もありました。**

市議会での私の質疑をまとめたホームページを開設しました!

この「井上ひろみニュース」で掲載しきれない詳細を動画と文書の両方でご覧いただけます。

<https://h-inoue.net/>

※文字原稿(議事録)の掲載は動画より遅れることがあります。



障害者雇用法定雇用率未達成について

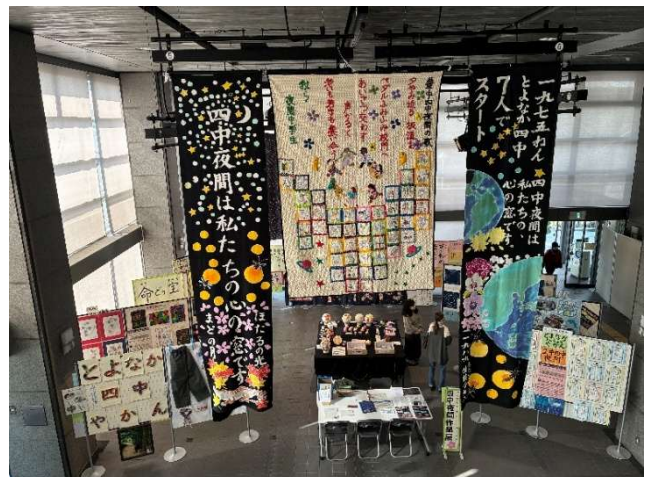
▶ 法律で定められている障害者雇用率に対し、市長部局で3人、病院で8人足りていないことがわかり、経緯の説明と早急な対応を求めました。

障害者雇用率未達成の場合、民間にはいわば罰則ともいえる納付金の義務があり、行政にはありません。**行政は達成して当然であり、民間企業の模範となるべき**だからです。平成25年にも同様の状況があり、市は再発防止に責任をもって取り組みと答弁した経緯があります。

数字の達成のため急に採用を増やそうとしても容易ではありません。今一度各職場において、全ての人が働きやすく、日々同僚として助け合う風土が醸成されているか確認し早急な改善を求めました。

▶ 他に、**小学校の35人学級について**、実現は評価するが**支援学級在籍の子どもを含めると超過があり**、教員の負担が大きくなっていることを指摘し、全てのクラスでの35人学級実現を要望しました。

(詳細は上記のQRコードからご覧ください↑)



3月、市役所第2庁舎ロビーで開催された「四中夜間作品展」

3月 本会議質問

悪質事業者の文芸センター利用に 再び抗議!

ちょうど1年前の3月議会で指摘した事業者が今年2月に逮捕の報道。しかし、文芸センターでのイベントは継続予定であることに再度問題提起!

貸館の使用を疑いだけの段階で拒否するのは難しいものの、今回は2月10日に逮捕(特定商取引法違反(目的隠匿勧誘)、医薬品医療機器法違反(承認前医薬品の広告禁止)の疑い)の報道があったにもかかわらず、2月27日の開催案内が市民に届いたと情報がありました。当初、使用拒否は難しいとの見解でしたが、**文化芸術センター指定管理者から事業者へ内容の再確認を行ったところ、事業者の方からの取り下げとなりました。結果としては良かったと思います。**

市施設を使用する際の、条例における使用制限は、「公序良俗を乱すおそれがある」や「暴力団の利益になり、又はなるおそれがある」、「管理上支障がある」、「その他市長が適当でない」と認めるときには使用を承認しないこととされています。

市民を悪質商法から守ること、**悪質な業者に市の施設を使わせお墨付きを与えないように、どのような対応をすべきか。**簡単に貸す前にハードルを設けるなど知恵を絞って欲しいと強く要望しました。

予算委員会

3月議会では、令和8年度(2026)予算が審議されました。所属する総務常任委員会委員として 22の事業について詳細に質疑を行いました。

総務委員会の所掌には消防局も含まれます。今回とりあげた中に「マイナ救急本格開始に伴う資材、機材整備等」の予算があります。

「マイナ救急」とは、救急搬送の際に患者の医療情報を迅速に確認できるよう、**マイナンバーカードを活用する仕組みのこと**です。救急隊が現場でマイナンバーカードを読み取ることで、持病(既往歴)、飲んでいる薬、アレルギー情報、受診歴等を把握します。これにより、搬送先の医療機関と情報を共有し、より適切で迅速な処置につなげます。

学校におけるマイノリティへの理解 と対応について

他人から見えない、自分でもよくわからない、そういったマイノリティ(LGBT+)が一定数存在することを前提とした学校教育が求められるが現状は?

LGBT+の日本における人口比率の調査はいくつかあり、5%~10%とされています。社会的な認知も進み、職場等では共生が進んでいます。しかし、子どもの頃はアイデンティティが確立されず違和感を抱えながら悩んでいると思われます。

豊中市では当事者の方からの講演、動画の視聴、絵本教材や令和5年(2023年)3月に本市で作成した「**ジェンダー平等教育啓発教材『With you』**」が活用されています。その効果か、子ども同志のやりとりで「誰か(の性別の役割)を決めつけるような発言に対して反論がみられ、**「性別にかかわらず、ありのままの自分でよいこと」への理解につながっている**と答弁がありました。また、既に設置されている相談窓口の充実や、保護者への啓発活動を一層充実させていく必要がある等の発言もありました。

議会でこうした議論がしっかりできるのは豊中市が発展、成熟している証であり、平和・人権教育を大切にしてきたからだと思います。

他に、実施から一年経過した『**豊中市パートナーシップ宣誓制度**』について質問しました。

一方で課題は、マイナンバーカードを持っていない人への対応、システムトラブル時のバックアップ、個人情報取り扱いへの不安等があります。また、現場の隊員の方々には**機器の操作など新たな負担が生じる面もあり、運用面での工夫や隊員への十分なサポートも要望しました。**

他に、「豊中市政90周年記念事業」「大阪国際空港周辺場外用地利活用事業」「自治基本条例に基づく取り組みの推進」や職員の処遇、研修、健康維持対策等について質疑を行いました。

活動記録

(主なものを抜粋しています)



活動報告はフェイスブック「井上ひろみ」で発信しています。ぜひご覧ください。



11/1 茨木フィールドワーク 視察の合間に日本最長の歩行者吊り橋へ



11/8 空と緑のミュージアム



11/11~13 沖縄市視察(兄弟都市)



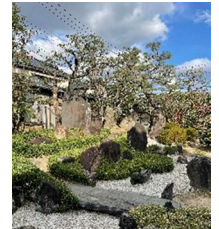
11/8 子育て・教育講演会



11/17 ヒューマンライツ自治体議員の会



11/21 旧森友学園施設見学



12/10 西山邸はなれ内覧

11月

- 1日 茨木市豊川地区フィールドワーク
- 4日 連合豊中街頭行動・豊中駅
- 8日 「空と緑のミュージアム」走井緩衝緑地/子育て・教育講演会
- 10日 豊中私立幼稚園 PTA 連合会/立憲ジェンダー平等推進委員会
- 11日~13日 沖縄市友好議員団視察
- 14日 クリーンランド議会
- 15日 教育改革フォーラム/りっけん豊中街頭行動(豊中駅)
- 16日 選択的夫婦別姓について考える勉強会
- 17日 ヒューマンライツ自治体議員の会
- 18日 大阪府市議会議員研修会
- 21日 旧森友学園校内覧
- 22日 介護学習会「高齢者の暮らしと介護保険」
- 23日 四中夜間 50 周年の集い
- 28日 本会議
- 29日 千里川フェスタ

12月

- 6日 連合北大阪政策・政治フォーラム
- 9日 人権教育をすすめる市民の集い
- 10日 西山邸はなれ内覧
- 18・19日 本会議
- 21日 りっけん豊中街頭行動(豊中駅)
- 22日 本会議
- 23日 市議会ハラスメント研修会

1月

- 6日 ティグレフォーラム新春の集い
- 7日 連合大阪新春の集い
- 17日 一斉防災訓練/箕輪公民分館 50 周年記念式典
- 18日 豊中市原爆被害者の会新春の集い
- 20日 豊中市労働旗開き
- 21日 千里森もりクラブ竹林整備/子どもの人権を考える集い
- 24日 国障年もちつき大会/国際交流センター新春の集い /豊中市少年少女サッカー連盟北摂杯

2月

- 2日 連合北大阪政策政治フォーラム総会
- 6日 クリーンランド議会
- 13日 豊中市教職員組合定期大会
- 19日 「障害」児・者の生活と進路を考える会例会
- 20日 立憲府連ハラスメント研修会
- 24日 本会議
- 27日 介護学習会

3月

- 1日 とよなかシティリレーマラソン▶
- 3日~5日 本会議
- 7日 立憲府連常任幹事会・全議員会議
- 16日 総務常任委員会
- 21日 豊中駅前まちづくりトークフェスタ・23日 本会議
- 25日 立憲府連財務委員会/「とよなかの教育」を考える集い
- 29日 服部天神駅前広場完成式典



11/15 教育改革フォーラム



1/18豊中市原爆被害者の会新春の集い



2/13 豊中市教職員組合定期大会



3/7 文芸センターの舞台に参加



3/29 服部天神駅前広場完成式典

皆さまの暮らしのお困りごと、ご相談、ご意見などお気軽にお寄せください。

■連絡先 …… 豊中市中桜塚3-1-1(市役所) 06-6858-5050・070-9113-6542
MAIL: inuehiromi18@gmail.com WEB: inoue.cdp-osaka.jp

発行元: りっけん豊中 発行日 2026年4月18日 vol.15 ※この市政報告は政務活動費を活用しています

LINE公式、Instagram他SNSやホームページの情報をまとめています。ぜひ繋がってください!

